

目次

1	平成18年度の博物館運営	
■	事業の概要 ● 日誌抄	2
■	統計資料 ● 予算・決算 ● 月別入館者数 ● 各事業参加者数 ● 博物館利用者数	3
■	出版活動 ● 出版物 ● 図書販売実績	4
■	施設管理 ● 第2展示室利用状況	5
2	展示公開事業	
■	企画展「流山市の歩みと未来」	6
□	企画展関連事業	
■	企画展「ちょっと昔の暮らし」	8
□	企画展関連事業	
■	収蔵資料展 ● 新収蔵資料展 ● ながれやまの民話原画展	10
3	教育普及事業	
■	ふるさと入門講座 ● 「考古学コース」 ● 「石仏コース」	11
	● 「流山今は昔コース」	12
■	博物館子ども教室	13
■	博物館実務実習生の受入れ ■ 講師派遣	14
4	調査研究事業	15
●	「流山市の歩みと未来」 ● 「ちょっと昔の暮らし」	
●	「吉野誠に関する調査研究」 ● 「電化製品のある暮らし」	
●	「庚申塔調査研究」 ● 「板碑調査研究」	
5	市史編さん事業	
■	市史編さん審議会 ■ 市内史跡巡り ■ 古文書講座	16
■	講師派遣 ■ 文献史料の公開準備	17
6	収集保管事業	
■	新収蔵資料	18
■	二次資料 ■ 資料の館外貸出	19
■	資料の撮影・転載許可	20
7	後援・共催事業	
●	近藤勇忌 ● ムルデルと利根運河 ● 小林一茶まつり	21
8	流山市立博物館のあらまし	
■	設置の目的 ■ 沿革	22
■	施設概要	24
■	設備概要	24
■	平成19年度博物館組織 ■ 流山市立博物館協議会委員	26
■	流山市史編さん審議会委員 ■ 職員(平成18年度) ■ 臨時職員	27
9	一茶双樹記念館利用状況	28
10	杜のアトリエ黎明使用状況	29
11	博物館友の会活動状況	30
	交通のごあんない	31

1 平成18年度の博物館運営

■ 事業の概要

第1回企画展では、市制施行40周年記念企画展として「流山市の歩みと未来」を、関連事業としてトーク&トーク・「語ろう、伝えよう流山の歩み」を開催した。

第2回企画展では、昨年度に引き続き「ちょっと昔の暮らし」を開催した。

これは小学校4年生の社会科単元「きょうどにつたわるねがい」で、100年くらい前から現在に至るまでの道具や暮らしの移り変わりを学習するのに対応した展示である。

ミニ企画展として、子ども絵画教室作品による「未来のアーティスト展～子ども絵画教室作品～」や「新収蔵資料展」「ながれやまの民話」原画展等を開催した。

教育普及事業では、ふるさと入門講座として3コース「考古学コース」・「石仏コース」・「流山今は昔コース」を実施し、さらに、学校週5日制に伴う余暇利用の一貫として「博物館子ども教室」（茶道教室・絵画教室・アンギンづくり等）を開催した。また、博物館案内パンフレットを発行し、催し物スケジュールを掲載した。

収集保管事業では、市民から民俗資料等20件319点の寄贈を受け入れた。

調査研究事業では、当該年度の企画展の調査をはじめ、吉野誠に関する調査を引き続き実施した。

市史編さん活動事業では、市内史跡巡り・古文書講座などを実施した他、マイクロフィルムのデジタル化に向けた整理作業を引続き実施した。

● 日誌抄

4月16日	「流山今は昔コース」(全4回)	10月22日	企画展関連事業
4月22日	子ども絵画教室	10月28日	子ども勾玉づくり教室
5月12日	博物館協議会	11月5日	企画展関連事業
5月21日	子ども勾玉づくり教室	11月10日	市史編さん審議会
5月16日	市史編さん審議会	11月18日	子ども絵画教室
6月4日	古文書講座(全4回)	11月19日	企画展関連事業
6月25日	子ども団扇づくり教室	11月30日	消防訓練
7月7日	市史編さん審議会	12月2日	新収蔵資料展～(1/14)
7月16日	第1回企画展～(9/18)	〃	子ども茶道教室
	「流山市の歩みと未来」	1月20日	ながれやまの民話原画展
7月23日	子どもアンギンづくり		～(2/12)
8月19日	子ども絵画教室	1日28日	子どもアンギンづくり教室
9月3日	企画展関連事業	2月11日	「考古学コース」(全4回)
9月9日	子ども茶道教室	2月17日	子ども絵画教室
10月1日	「石仏コース」(全4回)	3月17日	市内史跡巡り
〃	第2回企画展～(11/24)	3月18日	子ども勾玉づくり教室
	「ちょっと昔の暮らし」		

■ 統計資料

● 予算・決算

(単位：円)

事業名	予算額	事業名	予算額
	決算額		決算額
博物館事務管理事業	2,251,000	杜のアトリエ黎明維持 管理事業	9,000
	2,163,558		8,172
博物館活動事業	10,869,000	市史編さん活動事業	4,250,000
	8,343,146		1,047,036
博物館施設管理事業	13,111,000	博物館耐震診断事業	1,694,000
	10,783,712		1,092,000
一茶双樹記念館 維持管理事業	223,000	流山市史年鑑刊行事業	917,000
	219,142		907,672
一茶双樹記念館及び杜のア トリエ黎明指定管理者事業	11,920,000	合 計	45,244,000
	11,800,000		36,364,438

※職員の人件費は上記予算に含まない。

● 月別入館者数

区分 月	個人	団 体		計
		入館者数	団体数	
4月	1,656人	620人	9団体	2,276人
5月	2,287人	263人	5団体	2,550人
6月	1,660人	233人	2団体	1,893人
7月	2,904人	95人	1団体	2,999人
8月	3,063人	0人	0団体	3,063人
9月	2,204人	95人	4団体	2,299人
10月	2,635人	601人	8団体	3,236人
11月	1,874人	220人	3団体	2,094人
12月	984人	87人	2団体	1,071人
1月	1,757人	0人	0団体	1,757人
2月	1,884人	15人	1団体	1,899人
3月	2,038人	53人	2団体	2,091人
合計	24,946人	2,282人	37団体	27,228人

● 各事業参加者数

- 企画展関連事業「トーク&トーク語ろう伝えよう流山の歩みと未来」 32人
- 企画展関連事業「ちょっと昔の暮らし」全3回 51人
- ふるさと入門講座「考古学コース」全4回 142人
- ふるさと入門講座「石仏コース」全4回 121人
- ふるさと入門講座「流山今は昔コース」全4回 180人
- 博物館子ども教室 全12回 233人
- 「古文書講座」全4回 131人

● 博物館利用者数

28,118人

■ 出版活動

●出版物

名 称	判	頁	部数
『流山市立博物館年報 No.28』	A4	32	350
調査研究報告書『24』 流山庚申塔探訪	A5	320	700

●図書販売実績

書 名	頒価	販売数	書 名	頒価	販売数
4 流山の絵馬と額	1,260	-	流山市史研究 第5号	1,260	1
5 流山の石仏	1,890	-	流山市史研究 第6号	1,150	3
6 流山の職人	1,470	-	流山市史研究 第7号	1,260	1
7 流山の農業	840	1	流山市史研究 第8号	1,150	-
8 流山の講	1,360	3	流山市史研究 第9号	1,150	1
9 流山の衣生活	1,050	-	流山市史研究 第10号	1,260	4
10 河川と流山	1,360	3	流山市史研究 第11号	1,150	1
11 流山の屋敷神	1,470	-	流山市史研究 第12号	1,050	-
12 流山の道	1,260	4	流山市史研究 第13号	1,050	2
13 流山糧秣廠	1,050	3	流山市史研究 第14号	1,050	2
16 不思議	1,360	2	流山市史研究 第15号	1,050	2
17 下総のはにわ	520	7	流山市史研究 第16号	730	2
18 流山と自転車	580	3	流山市史研究 第17号	500	2
19 中野久木谷頭遺跡	900	6	流山市史研究 第18号	500	10
20 吉野誠の世界	600	4	流山市史研究 第19号	320	69
21 流山の醸造業Ⅰ【資料編】	1,260	6	流山市史 八木村誌	4,200	
22 流山の醸造業Ⅱ【本文編】	1,150	11	流山市史 流山町誌	4,200	
23 博物館でタイム・トリップ	710	132	流山市史 新川村文書	4,200	1
聞き書き 流山の野菜作り	340	15	流山市史 利根運河	5,250	1
常設展示図録	560	63	流山市史 近世資料編Ⅰ	5,250	-
展示図録(第2集)	520	-	流山市史 近世資料編Ⅱ	5,250	-
館蔵品図録	1,050	-	流山市史 近世資料編Ⅲ	6,300	1
館蔵品図録Ⅱ	1,050	-	流山市史 近世資料編Ⅳ	6,300	1
流山のむかし	500	181	流山市史 近世資料編Ⅴ	6,300	1
流山市文化財マップ	300	25	流山市史 近世資料編Ⅵ	4,720	1
笹岡一人と画業の軌跡	730	2	流山市史 植物編	4,200	1
テレホンカード	800	4	流山市史 民俗編	6,300	1
メモパッド	100	153	流山市史 文化財編	4,200	1
流山市史研究 第3号	1,050	-	流山市史 通史編Ⅰ	2,620	5
流山市史研究 第4号	1,150	2	流山市史 通史編Ⅱ	2,500	-

■ 施設管理

● 第2展示室利用状況

企画展等で利用していない時は、市民の芸術活動を支援するため、無料で市民に貸出しをしている。利用状況は下表のとおりである。

利用期間	申請者(主催)	利用内容	入館者数
4月1日～4月27日	流山市生涯学習課	「掘り出された流山」発掘情報2007	1,918人
4月30日～5月8日	木村邦彦 (アトリエMEGUMI)	アトリエMEGUMI 作品展 ～子ども絵画作品～	1,306人
5月16日～5月21日	ばらみ会	絵画展	824人
7月16日～9月18日	流山市立博物館	第1回 企画展	7,146人
10月1日～11月26日	流山市立博物館	第2回 企画展	5,162人
12月2日～1月14日	流山市立博物館	新収蔵資料展	1,503人
1月20日～2月12日	流山市立博物館	ながれやまの民話 原画展	1,780人
2月20日～2月25日	流山の風景を描く会	油絵・水彩画展	612人
合 計			18,121人



▲ 第2展示室

2 展示公開事業

■ 企画展「流山市の歩みと未来」

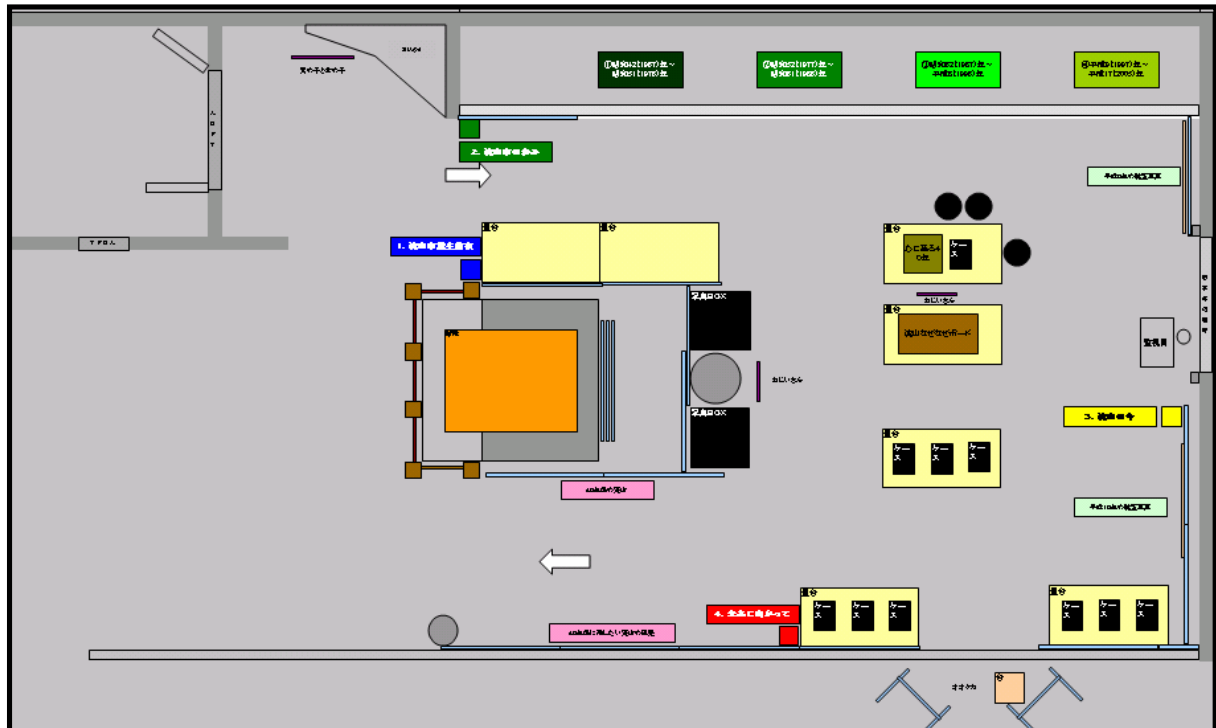
開催期間＝平成18年7月16日（日）～平成18年9月18日（月）
観覧者数＝6,372人

昭和42年に、千葉県下20番目の市として始まった流山市は、平成18年に市制施行40周年を迎えた。そこで、博物館では、市制施行40周年を記念してこの間の市の歩みを振り返るとともに、現在さまざまな方面で展開されているまちづくりの取り組みを紹介した。



▲展示状況▲

▼【展示構成図】



□企画展関連事業 トーク&トーク「語ろう、伝えよう流山の歩み」

企画展「流山市の歩みと未来」にかかわる展示資料や流山市の歴史をより深く理解してもらうため、流山の歴史・まちづくりに詳しいコーディネーターを交えた、“トーク&トーク「語ろう、伝えよう流山の歩み」”を実施した。

実施日：平成18年9月3日（日）

コーディネーター：青木更吉・小川浩・西村喜美江

参加者数：32名

▼トーク&トーク▼



【展示解説】

企画展に係る資料について、博物館学芸員による解説・質疑応答を実施した。
8月5日（土）・8月19日（土）



▲展示解説

■ 企画展「ちょっと昔の暮らし」

開催期間＝平成18年10月1日（日）～平成18年11月26日（日）
 観覧者数＝5,162人

開催趣旨

小学校4年生は社会科単元「きょうどに
 つたわるねがい」で、100年くらい前からの
 生活の移り変わりを学習する。

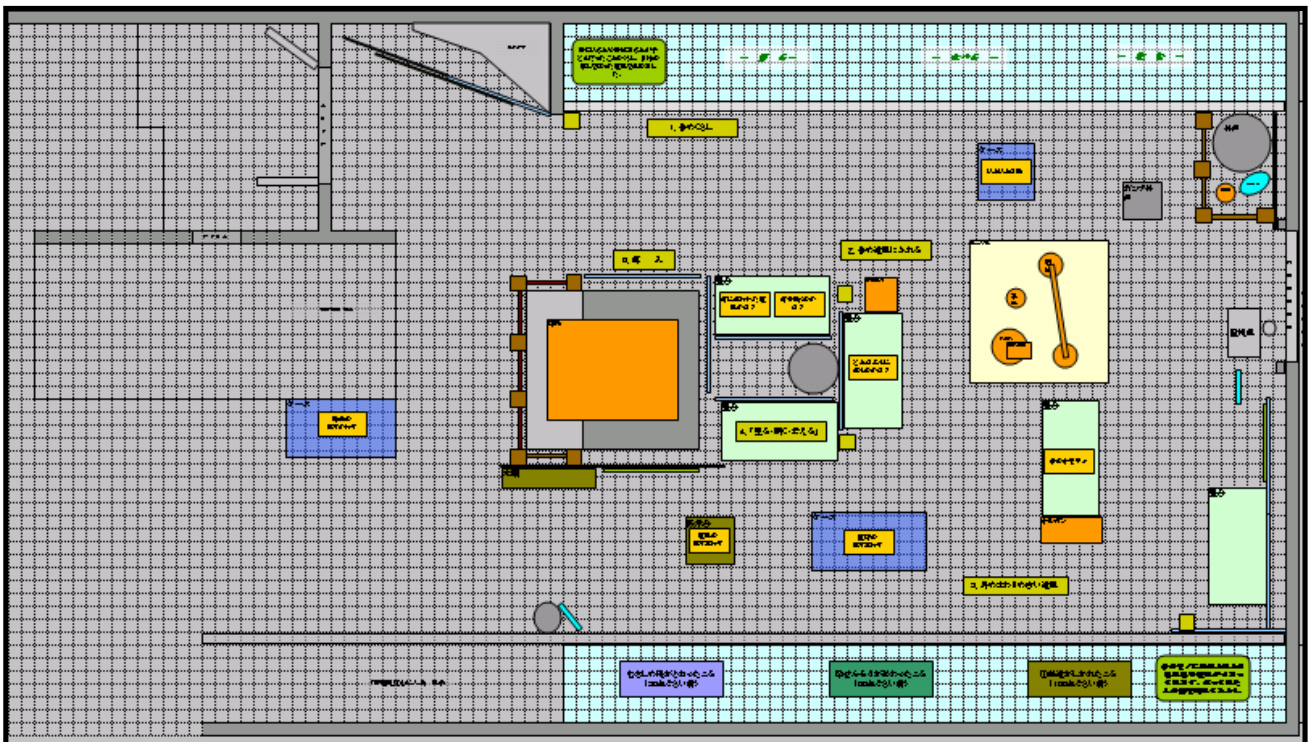
当館では、この時期に100年くらい前の
 民具や写真を展示し、学習の手助けができ
 ればと考え、企画展「ちょっと昔の暮らし」
 を開催している。毎年少しずつ構成や資料
 を替え、今回が6回目である。この企画展
 には、市内外の小学生が団体に来館し、昔
 の民具の見学や体験などを通じ学習をし
 ている。

また、市民には流山市の100年くらい前
 からの歴史を理解することはもとより、来
 館した老若男女が展示資料を通じ世代間交
 流の場を目指した。



▲ 展示状況

【展示構成図】



展示概要と主な展示資料

教科書にあわせた展示構成とした。また、企画展にあわせて、常設展示部分に子ども向きの解説をつけて、郷土の歴史についても理解を深めることを目指した。

※（ ）はコーナー別の展示点数・内容

1. 昔の暮らし（79点）

教科書の挿画に見える民具を衣食住に大別して展示した。

（柳ごおり・くけ台・箱ぜん・水がめ・足付ぜん・車井戸・陶製湯たんぽ・きせる・火消しつぼなど）

2. 昔の道具にふれる（22点）

「ちょっと昔の暮らし」に思いをはせる導入の場。今回は昔の道具を使ってみたり、昔のおもちゃで遊んでもらうようにした。

（ふいご・手桶・手回し式小形計算機・洗濯機・万華鏡・剣玉・お手玉など）

3. 身のまわりの古い道具（37点）

100年程前から今に至るまで、その時々

の生活を支え、彩った道具を展示した。
（綿繰り・ハエとり機・カルメ焼き器
夏季学習帳・明治時代の教科書・経木
電気洗濯機・テレビ・電気炊飯器
膳写版の道具など）

4. 「見る・聞く・考える」（87点）

ちょっと昔から今に至るまでの変化を子どもたちが追体験するため展示した。
（貨幣・学校給食レプリカ）



▲展示状況

□企画展関連事業

企画展に併せて昔の暮らし体験講座を常設展示室で実施した。

- | | | |
|------------------------|-----------|-------|
| ・「昔の暮らしをちょっと体験」 | H18.10.22 | 23人参加 |
| ・「昔のおもちゃでお父さんお母さんと遊ぼう」 | H18.11.5 | 16人参加 |
| ・「この音は何だろう？」 | H18.11.19 | 12人参加 |

■ 収 蔵 資 料 展

● 新収蔵資料展

開催期間＝平成18年12月2日（土）～平成19年1月14日（日）

観覧者数＝1,499人

開 催 趣 旨

平成16年度に行った収集保管事業の成果を基に、当該資料を有効に活用することはもとより、それらの資料を展示公開することで、博物館の活動を市民・来館者に周知し、博物館活動への積極的な参加を啓発した。



◀ 展示状況

● ながれやまの民話原画展

開催期間＝平成19年1月20日（土）～平成19年2月12日（月）

観覧者数＝1,894人

開 催 趣 旨

流山に伝わる民話を知ること、郷土ながれやまの歴史をより深く・楽しく学び、文化活動の啓発及び導入として市内在住の漫画家によって描かれた原画と共に郷土に伝わる民話を紹介し、関連イベントとして、図書館ボランティア“ながれやま衆”の協力による、おはなし会を実施した。

おはなし会：1月21日（日）・2月4日（日）・2月11日（日）



▲ 展示状況



▲ 関連事業

3 教育普及事業

■ ふるさと入門講座

● 「考古学コース」

考古学への入門をはじめ、近年の考古学の成果を学び、地域の歴史を学ぶ方法や、生涯学習の楽しみを知る一助とした。(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	2月11日(日)	日本学術振興会 (特別研究員) 石神 裕之	考古学の考え方	44人
2	2月25日(日)		縄文・弥生の新しい年代観	39人
3	3月11日(日)		江戸の暮らしの考古学	33人
4	3月25日(日)		戦争と産業の考古学	26人

● 「石仏コース」

石仏について学び、石仏をとおして地域の歴史や民俗、地域の歴史を学ぶ方法、生涯学習の楽しみを知ってもらう目的で開催した。(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	10月1日(日)	台東区 文化財保護調査員 伊藤 宏之	石造物への招待 —さまざまな石仏・石塔—	33人
2	10月15日(日)		石仏入門 —板碑とはなにか—	29人
3	10月29日(日)		石仏の研究法1 —刻まれた信仰—	34人
4	11月12日(日)		石仏の研究法2 —流山の板碑—	25人

● 「流山今は昔コース」

「日本文化と流山」をテーマに、近世中期から明治時代を中心に日本文化の足跡と流山の係りを知ってもらうことを目的に開催した。 (敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	4月16日(日)	中 澤 伸 弘	「近世における日本文化の再発見」	52人
2	4月30日(日)		「近世中後期の出版文化」	41人
3	5月14日(日)		「改暦と庶民の生活」	45人
4	5月28日(土)		「神社と寺院」	42人



▲石仏コース



▲今は昔コース



▲考古学コース

■ 博物館子ども教室

学校週5日制に対応するため、市内在住の小中学生を対象として、「茶道教室」「絵画教室」「アンギンづくり」等を毎月1回実施した。

回	期 日	講 師	内 容	参加者数
1	4月22日(土)	博物館職員	絵画教室	27人
2	5月21日(日)	博物館職員	勾玉づくり	23人
3	6月25日(日)	博物館職員	団扇づくり	17人
4	7月23日(日)	博物館職員	アンギンづくり	20人
5	8月19日(土)	博物館職員	絵画教室	25人
6	9月9日(土)	流山市茶道親和会	茶道教室	9人
7	10月28日(月)	博物館職員	勾玉づくり	18人
8	11月18日(土)	博物館職員	絵画教室	20人
9	12月2日(土)	流山市茶道親和会	茶道教室	18人
10	1月28日(日)	博物館職員	アンギンづくり	10人
11	2月17日(土)	博物館職員	絵画教室	22人
12	3月18日(日)	博物館職員	勾玉づくり	24人



▲ アンギンづくり



▲ 絵画教室

■ 博物館実務実習生の受入れ

平成18年度の博物館実習生は、8月24日から9月1日までの6日間、6校の大学から6名の実習生を受け入れた。

博物館実務実習日程表

期 日	実 習 内 容
8月24日	ガイダンス・博物館活動概説・館内案内・展示公開事業
8月25日	収集保管事業
8月29日	展示公開事業（庚申塔分類検討等）
8月30日	展示公開事業（収蔵資料展準備等）
8月31日	展示室内清掃（設備点検・水槽清掃等）
9月 1日	展示公開事業（収蔵資料展準備）

博物館実務実習生一覧

	大 学 名	学部名	学年	性別	居住地
1	東洋大学	文学部	4	男	流山市
2	大正大学	人間学部	4	女	流山市
3	駒沢大学	文学部	4	女	流山市
4	東京農業大学	地域環境科学部	4	女	流山市
5	千葉経済大学	経済学部	4	男	流山市
6	江戸川大学	社会学部	4	男	流山市

■ 講師派遣

各小学校からの要請により、職員を講師として派遣した。

実 施 日	内 容	派 遣 先
10月 6日	昔の暮らし	市立向小金小学校（4年生）
11月20日	流山の歴史と史跡	千葉県生涯大学東葛飾学園
12月 8日	流山の醸造業の歴史	東京成徳大学
2月 8日	昔の暮らし	市立小山小学校（4年生）

4 調査研究事業

● 「流山市の歩みと未来」

平成18年度第1回企画展の開催に向けて資料の調査研究を行い、企画展の充実を図った。

● 「ちょっと昔の暮らし」

平成18年度第2回企画展「ちょっと昔の暮らし」の開催に向け、100年くらい前からの民具や玩具を対象として調査研究を行い、企画展の充実を図った。

● 「吉野誠に関する調査研究」

乾板情報のデジタル化作業とともに、吉野誠に関する調査研究を行った。

● 「電化製品のある暮らし」

流山市立博物館ボランティア「聞き書きの会」のメンバーとともに、報告書の刊行に向けて、調査研究を行った。

● 「庚申塔調査研究」

調査研究報告書第24号『流山庚申塔探訪』の刊行及び、平成19年度第1回企画展の開催に向けて「庚申塔を調査し隊」のメンバーとともに、庚申塔調査を行った。

● 「板碑調査研究」

平成21年度第1回企画展に向けて板碑調査を行った。

5 市史編さん事業

■「市史編さん審議会」

市史編さん事業の推進にあたり、市史編さん事業に対する要望や意見を広く求め、その方向性を検討するため市史編さん審議会を平成18年5月16日（火）・7月7日（金）・11月10日の計3回実施した。

■「市内史跡巡り」

市民を対象に市内史跡を探訪して流山の歴史について知識の高揚を図った。

期 日	見 学 先	講 師	参加者数
3月17日（日）	江戸川土手～旧流山市街～浅間神社～常与寺～閻魔堂～近藤勇陣屋跡～赤城神社～光明院～一茶双樹記念館	博物館職員	25人

■「古文書講座」

初心者を対象として開催し、古文書解読の基礎を習得した。

（敬称略）

回	期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
1	6月4日（日）	中央図書館会議室	解読入門 1	野田市 教育委員会	41人
2	6月18日（日）	中央図書館会議室	解読入門 2		33人
3	7月2日（日）	中央図書館会議室	解読入門 3		32人
4	7月30日（日）	中央図書館会議室	解読入門 4	猪股 寛	25人



▲講座風景

■「講師派遣」

市民を中心とした団体等に対し、博物館職員を講師として派遣して流山の歴史及び市史編さん事業を周知した。

期 日	派 遣 先	内 容	参加者数
12月10日(日)	流山市シルバー人材センター	史跡めぐり 十太夫熊野神社～オランダ観音～三輪茂呂神社～西栄寺～金毘羅神社	18人

■文献史料の公開準備

博物館で収集・保管している文献史料を web 上に公開する準備として、史料のデータベース化を進めた。

作業内容としては、長期にわたり作成されたため、その作成時期により違いの生じている史料目録の項目を統一化して整理した。

また、公開画像は収録済みのマイクロフィルムデータを前提としているため、収蔵している約400本のフィルムを目録化した。

なお、web 公開については、画像のデジタル化及び解読文のテキスト化等の作業が必要となる他、県内他町村との公開様式統一の課題が残るが、県内の公開決定時に即対応できるように作業を進めている。

6 収集保管事業

■ 新収蔵資料

受贈資料一覧

No.	受入日	資 料 名	点数	寄贈者名(敬称略)
1	4.5	太政官高札・建築図面	3	吉野 利子 (流山市)
2	4.8	「下総葛飾郡流山浅間神社祭祀奉願」	1	中澤 伸弘 (台東区)
3	5.31	ペナント	1	横尾 伸一 (流山市)
4	5.31	手拭・このはな幼稚園開園案内状	2	秋元 由美子 (流山市)
5	6.30	薬瓶	3	金子 カツ (流山市)
6	8.25	謄写版用鉄筆・ヤスリ・原紙	3	青木 更吉 (流山市)
7	8.31	銭箱・薬研・古文書・行李他	14	吉田 良男 (流山市)
8	9.8	竹工機 (竹割)	3	岡本 康夫 (流山市)
9	9.8	算盤・相撲番付・古銭・テレビ他	23	吉田 良男 (流山市)
10	9.12	御札・講札・金剛杖・麵棒	8	吉田 良男 (流山市)
11	11.16	キャラクターのフィギュア	100	遠山 篤志 (流山市)
12	11.14	たらい	1	宮坂 淑子 (流山市)
13	11.15	地券・一斗枡・竿秤・分銅	7	山田 喜雄 (流山市)
14	11.14	徳利	2	大村 忠男 (流山市)
15	1.25	刀・槍・鞘	5	小谷 千代 (流山市)
16	3.20	郵便葉書・戦時国債・教科書	6	須賀 忠信 (流山市)
17	3.20	板碑	1	染谷 元次 (流山市)
18	3.27	電気釜	21	西牟田トシ子 (流山市)
19	3.30	腰差し煙草入れ・五銭紙幣他	12	神谷 松江 (流山市)
20	3.30	安全吸入器・中山式快癒器	3	大塚 愛子 (流山市)

計 20 件 219 点

■ 二次資料

購入図書 40冊
 受贈図書類 692点 (図書679 CD-ROM10 DVD3)

■ 資料の館外貸出し

博物館資料館外貸出状況

No.	貸出期間	資料名称	点数	貸出先	事由
1	4. 1 ~ 3. 31	坂本 直画 「加岸の家」	1	水道局	展示
2	4. 13 ~ 6. 30	弁当箱・小田原提灯・携 帯用枕	3	成田山靈光館	展示
3	5. 1 ~ 4. 30	秋元松子画 「枯れた花」 「残花」 「花に寄せて」	3	図書館 (北部地域図書館)	展示
4	5. 19 ~ 5. 20	西初石桜窪遺跡出土縄 文式土器他	10	江戸川台小学校	教材
5	9. 26 ~ 11. 20	鉛メンコ・紙メンコ・ブ リキ製玩具・レコード盤	100	千葉県立房総のむら	展示
6	10. 7 ~ 12. 16	中野久木谷頭遺跡出土 土器	5	船橋市飛ノ台史跡公園 博物館	展示
7	10. 26 ~ 11. 11	鉄製かま・釜のふた・鉄 鍋・鍋ふた・圧力釜・ガ ス釜	6	生涯学習課	展示

■ 資料の撮影・転載許可

博物館資料撮影・転載許可

(敬称略)

No.	許可日	資料名称	点数	申請者	事由
1	6. 2	運河駅写真 (昭和45年7月2日撮影) 原本	1	東京理科大学総合企画部 広報課	撮影 掲載
2	6. 1 1	板碑(拓本)	1	伊藤 宏之	撮影
3	7. 2 6	『中山誠一家文書』 『秋元家文書』	3 6	松戸市戸定歴史館	撮影 掲載
4	7. 2 9	『恩田寿幸家文書』 『吉野縫之介家文書』	102	小林 風(東京都)	撮影
5	9. 2 0	みりんの樽・加地区遺跡群 Ⅲ 報告書	5	パシフィック コンサルタンツ(株)	閲覧 撮影
6	9. 3 0	東深井古墳郡12号・13 号墳出土人物埴輪	3	城倉 正祥	撮影 掲載
7	10. 2 4	『葛飾知県事印』印鑑 (吉野利子家文書)	1	千葉県史料研究財団	撮影 掲載
8	12. 1	写真集利根川高瀬舟	2	日本工営(株)	撮影 掲載
9	12. 1 3	博物館・一茶双樹記念館	VTR	江戸川大学 桑山 清隆	撮影

7 後援・共催事業

市内の文化事業団体と協力して次の事業を実施した。

●第3回 近藤勇忌

主催：大出俊幸

流山歴史文化研究会

後援：流山市教育委員会（博物館）

開催趣旨：新選組局長近藤勇が流山で捕縛されたことから、勇忌を開催し、本市の歴史を全国に発信するもの。

期日・内容

平成18年4月9日（日）

13:00 勇忌（長流寺）

14:00 新選組研究論文大会表彰式（商工会館）

14:40 講演会（商工会館） 講師 釣 洋一

演題「近藤勇の介錯人・横倉喜三次」

参加者数：100人

●第1回 利根運河まつり

主催：流山歴史文化研究会

後援：流山市教育委員会（博物館）

開催趣旨：明治23年に開通した江戸川と利根川を結ぶ利根運河は、オランダ人土木技師ムルデルが工事の指揮をした。ムルデルと利根運河の関わりや、運河がもたらした流山の繁栄についての講演会を実施した。

期日・内容

平成18年10月1日（日）

15:00 講演会（新川）

講師：相原正義

演題：「ムルデルと利根運河」

参加者数：25人

●第2回 小林一茶まつり

主催：流山歴史文化研究会 流山市教育委員会（博物館）

後援：流山俳句協会 一茶双樹記念館指定管理者

開催趣旨：流山は俳人小林一茶がたびたび訪れ、秋元双樹と親交を深めた地である。一茶・双樹及び一茶双樹記念館を広く紹介するために実施した。

期日・内容

平成18年10月15日（日） 一茶双樹記念館於

10:00 子ども俳句大会

11:40 紙芝居

12:00 俳句大会表彰式

14:00 講演会

講師：青木美智男

演題：「小林一茶とその時代」

参加者数：40人

8 流山市立博物館のあらまし

■ 設置の目的

流山市立博物館の前身である流山市郷土資料館は、流山市市制施行10周年記念事業のひとつで、市立図書館との複合施設として昭和53年6月1日に開館した。用地はかつて、葛飾県・印旛県の県庁が置かれていた流山市加の台地上である。流山市が首都30km圏内に位置し人口が急増する中で、急速に失われていく文化財や郷土資料を保存・展示するためである。それ以前には市史編さん室が文化財保護行政も担当しながら郷土資料室をもち、民具等資料の収蔵・展示も行っていた。郷土資料館はそれをさらに充実拡大するものであった。

■ 沿革

- | | | |
|-------|-------|--|
| 昭和42年 | 1月1日 | 流山市市制施行 |
| 昭和42年 | | 教育委員会に市史編さん担当がおかれ、文化財保護行政も担当する |
| 昭和49年 | | 流山市の3か年実施計画に市立図書館の構想が盛り込まれる |
| 昭和50年 | | 実施計画のマスタープランに、図書館との複合施設として、郷土資料館が浮上、市制施行10周年記念事業に位置付けられる |
| 昭和51年 | | 市史編さん室設置 |
| 昭和52年 | 4月1日 | 流山市文化財保護条例施行 |
| 昭和52年 | | コレクター永井仁三郎氏により、資料寄贈の申し入れ |
| 昭和52年 | 7月15日 | 郷土資料館開設準備室設置、文化財保護行政は準備室が担当 |
| 昭和53年 | 4月1日 | 「流山市郷土資料館」公の施設として設置
館長の下に庶務係と学芸係 |
| 昭和53年 | 6月1日 | 流山市郷土資料館開館 常設展「流山ーその風土と歴史」
「武士と町人ー永井コレクションより」のほか小企画展も開催し、以降毎年企画展を開催する |
| 昭和54年 | 10月1日 | 設置条例を改正し、教育機関となる |
| 昭和55年 | 3月1日 | 流山市郷土資料館協議会設置 |
| 昭和55年 | 3月20日 | 博物館法に基づく登録館となる |
| 昭和55年 | 4月1日 | 文化財保護行政を社会教育課に移管 |
| 昭和56年 | 4月1日 | 流山市史編さん審議会条例施行 |
| 昭和57年 | 3月31日 | 流山市史近代資料編「八木村誌」を刊行し、以降市史資料編を刊行 |
| 昭和59年 | 4月1日 | 名称を「流山市立博物館」と改称する
教育委員会に部制がしかれ、社会教育部に所属する |

- 機構改革により庶務係、学芸係が一本化されて管理係に、市史編さん室が博物館に統合され、市史編さん係となる
- 昭和 63 年 9 月 3 日 永井コレクションを中心にオーストラリア ブロードメドゥ市で「日本文化展」を開催 9 月 30 日まで
- 昭和 63 年 10 月 15 日 企画展 武士と町人ー永井コレクションよりーを収蔵展に展示替え
- 平成 7 年 4 月 4 日 一茶双樹記念館開館
- 平成 9 年 4 月 1 日 機構改革により社会教育部が生涯学習部となる
- 平成 12 年 12 月 22 日 リニューアル改修工事着手
- 平成 13 年 4 月 1 日 常設展を新たにし、第 2 展示室を設置してリニューアルオープン
- 平成 13 年 10 月 10 日 杜のアトリエ黎明開館
- 平成 14 年 4 月 1 日 一茶双樹記念館及び社会教育ギャラリー（杜のアトリエ黎明）が博物館の所管となる
機構改革により管理係と学芸係となる
- 平成 18 年 4 月 1 日 指定管理者制度の導入により、一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明の管理・運営が指定管理者となる。
（平成 18 年度指定管理者：㈱グリーンダイナミクス）



■ 施設概要

1 規模

建築面積		1,131.00 m ²
延床面積	2階	720.00 m ²
	3階	960.00 m ²
	R階	72.00 m²
	合計	1,752.00 m ²
敷地面積		4,826.78 m ²
	(図書館敷地を含む)	

2 構造

鉄筋コンクリート造り2階建
(図書館と複合施設)

3 建物設計・監理

ザイマ・サトー建築設計事務所

4 建築工事

清水建設株式会社

着工 昭和52年7月26日

竣工 昭和53年3月20日

5 各室面積一覧

階	室名	延面積
2階	収蔵庫	384.0 m ²
	荷解室	24.0 m ²
	暗室及び印刷室	8.0 m ²
	研究工作室	32.0 m ²
	前室	24.0 m ²
	事務室	48.0 m ²
	応接室	27.0 m ²
	整備・機械室	4.6 m ²
	掃除物置及び管理室	11.6 m ²
	男・女トイレ	20.0 m ²
	階段室	12.0 m ²
	廊下	56.8 m ²
	展示コーナー	20.0 m ²
	ホール	48.0 m ²
	小計	720.0 m ²
3階	展示室	916.0 m ²
	第2展示室(展示室のうち)	(137.0 m ²)
	階段室	32.0 m ²
	ダクトスペース	12.0 m ²
小計	960.0 m ²	
R	機械室	72.0 m ²
	合計	1,752.0 m ²

6 建物総工費 254,613千円
内 訳

本体工事費	178,269,210 円
電気工事費	28,500,000 円
付帯工事費	
給排水工事費	12,606,000 円
冷暖房工事費	28,064,000 円
小 計	69,170,000 円
その他	
事務費	6,613,000 円
外構工事費	560,790 円
小 計	7,173,790 円
合 計	254,613,000 円

7 資金内訳

国庫補助金	32,000,000 円
県費補助金	32,000,000 円
地 方 債	50,000,000 円
一 般 財 源	140,613,000 円
合 計	254,613,000 円

8 展示設計・施工

日本エキジビション企画プロ
ダクション

9 展示総事業費

4

6,250千円

10 収蔵庫増設費

19,600千円

11 リニューアル事業費

43,129千円

■ 設備概要

1 電気設備

- (1) 受電設備 3相3線 6,600V 50Hz
- (2) 変圧器 屋外用油入自冷式
- (3) 進相コンデンサー 3相 100KVA 2台
- (4) 予備電源(蓄電池) 12V 120AH

2 空調設備

- (1) 一般系統 冷温水機・空気調和機
- (2) 収蔵庫系統 空冷式空調機・24時間運転
- (3) 展示ケース系統 空冷式空調機・24時間運転

3 放送設備

- (1) 普通用・一般アナウンス
- (2) 非常用

5 防火設備

- (1) ハロン1301 消化設備(収蔵庫)
- (2) 自動火災報知設備
- (3) 屋内消火栓設備

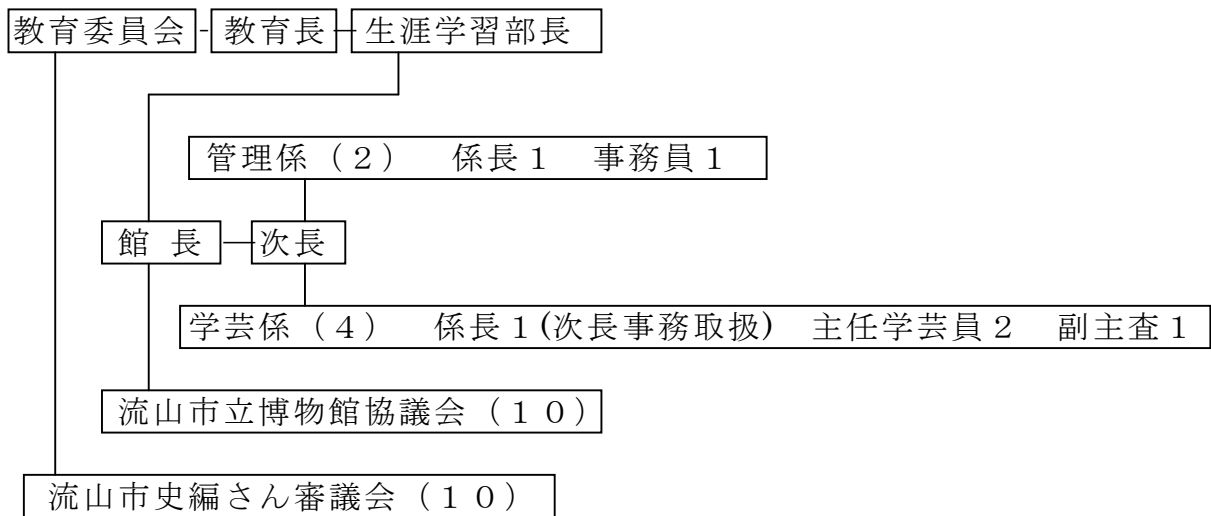
4 昇降設備(収蔵庫～展示室)

- 積載量 300 kg
- か ご 1m×1m×1.2m(H)

6 防犯設備

総合ガードシステム(委託)

■ 平成18年度博物館組織



■ 流山市立博物館協議会委員

任 期 平成16年5月18日から平成18年5月17日まで

(敬称略)

区 分	氏 名	役 職	備 考
学 校 育	村 田 一 二	流山市立江戸川台小学校長	副会長
	野 口 浩 樹	八木北小学校長	
	坂 口 茂 美	流山市立西初石中学校校長	
社 会 育	青 木 更 吉	流山市立博物館友の会	会 長
	柴 崎 寛 子	流山市美術家協会副会長	
学 識 経 験	下津谷 達 男	元国学院栃木短期大学教授	
	森 尚 登	県立総南博物館学芸課長	
	池 田 哲 朗		
	岩 崎 正 樹		
	折 戸 直 子		
	辻 野 弥 生		

※ 村田一二委員は、平成18年3月31日で退任
野口浩樹委員は、平成18年4月28日に就任

■ 流山市史編さん審議会委員

任 期 平成18年5月16日から平成20年5月15日まで

(敬称略)

区 分	氏 名	役 職	備 考
第1号 選 出	家 山 和 夫	元教員・元社会教育指導員	
	小 川 浩	昭和女子大学文学部講師	
	栗 山 秀 純	大正大学教授	会 長
	下津谷 達 男	元国学院栃木短期大学教授	
	堀 部 昭 夫	元千葉県立現代産業科学館副館長	副会長
	青 木 更 吉	地域史研究者	
	鈴 木 仲 秋	江戸川短期大学名誉教授	
	村 田 一 二	千葉県総合教育センター嘱託	
第2号 選 出	山 田 友 治	東京工芸大学教授	
	松 本 好 夫	図書館長	

■ 職員（平成18年度）

館 長 : 鈴木 洋子
 次 長 : 川根 正教
 管理係 係 長 : 菊本 孝
 事 務 員 : 吉田 文展
 学芸係 係 長 : 川根次長事務取扱
 主任学芸員 : 増崎恵美子・遠山 仁恵
 副 主 査 : 横尾 伸一

■ 臨時職員

一般事務（管理係） 1人
 資料調査員（学芸係） 2人
 資料整理員（学芸係） 4人
 企画展監視員（学芸係） 2人

9 一茶双樹記念館利用状況

■ 一茶双樹記念館入館者数

月	一般個人	一般団体	小中個人	小中団体	割引	免除	観覧者合計	施設使用者	入館者合計
4月	183人	104人	2人	11人	0人	61人	361人	48人	409人
5月	408人	0人	12人	0人	0人	94人	514人	52人	566人
6月	230人	20人	11人	0人	0人	165人	426人	24人	450人
7月	229人	18人	5人	0人	0人	27人	279人	116人	395人
8月	213人	0人	17人	0人	0人	47人	277人	52人	329人
9月	207人	65人	4人	0人	0人	70人	346人	91人	437人
10月	349人	62人	7人	0人	0人	495人	436人	274人	710人
11月	266人	76人	4人	0人	0人	35人	381人	88人	469人
12月	168人	0人	6人	0人	0人	13人	187人	381人	568人
1月	261人	0人	2人	0人	0人	6人	269人	63人	332人
2月	222人	0人	11人	0人	0人	66人	299人	26人	325人
3月	795人	621人	25人	14人	0人	367人	1822人	48人	1870人
合計	3531人	966人	106人	25人	0人	1,447人	5,597人	1,263人	6,860人

● 使用申請からみた利用状況

月	使用目的				使用団体						使用施設				
	茶会	句会	その他	計	市内	市外				県外	計	一茶庵	双樹亭	両施設	計
						柏市	松戸市	我孫子市	その他						
4月	3	1	1	5	5						5	3		2	5
5月	1	3	1	5	5						5	4	1		5
6月	4	1	2	7	6				1		7	4	2	1	7
7月	2			2	2						2		2		2
8月			1	1	1						1	1			1
9月	2			2	2						2	2			2
10月	4		1	5	5						5	2		3	5
11月	2	2	1	5	5						5	3	1	1	5
12月			1	1	1						1	1			1
1月	4	1		5	5						5	5			5
2月			1	1	1						1	1			1
3月			2	2	2						2	2			2
合計	22	8	11	41	40				1		41	28	6	7	41

10 杜のアトリエ黎明利用状況

■ 杜のアトリエ黎明利用状況

月	作品展	行事	会議	その他	合計利用件数	利用日数	入館者合計
4月	2件	1件	2件	1件	6件	26日	345人
5月	4件		2件		6件	26日	509人
6月	4件	1件	2件		7件	26日	552人
7月	2件		2件	2件	6件	27日	157人
8月	3件	1件	1件		5件	26日	338人
9月	2件		2件		4件	26日	589人
10月	5件	1件	2件	1件	9件	26日	929人
11月	3件	1件	2件	2件	8件	26日	449人
12月	3件		2件		5件	24日	306人
1月	2件		2件		4件	24日	267人
2月	2件	1件	2件		5件	24日	204人
3月	2件		2件		4件	27日	344人
合計	34件	6件	23件	6件	69件	308日	4,989人

●使用申請からみた利用状況

月	作品展			行事			会議			その他			合計		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
4月										1		1	1		1
5月	1		1				4		4				5		5
6月	1		1										1		1
7月	3	1	4				3		3	1	1	2	7	2	9
8月															
9月							6		6				6		6
10月	1		1				1		1				2		2
11月	1	1	2							1		1	2	1	3
12月	1		1				2		2				3		3
1月	1		1				2		2				3		3
2月	3		3				2		2				5		5
3月							2		2				2		2
合計	12	2	14				22		22	3	1	4	37	3	40

11 博物館友の会活動状況

平成18年度の活動経過を報告いたします。

前年にひき続き、文章、朗読、川柳の3講座は新会員を迎えてそれぞれ盛況であります。

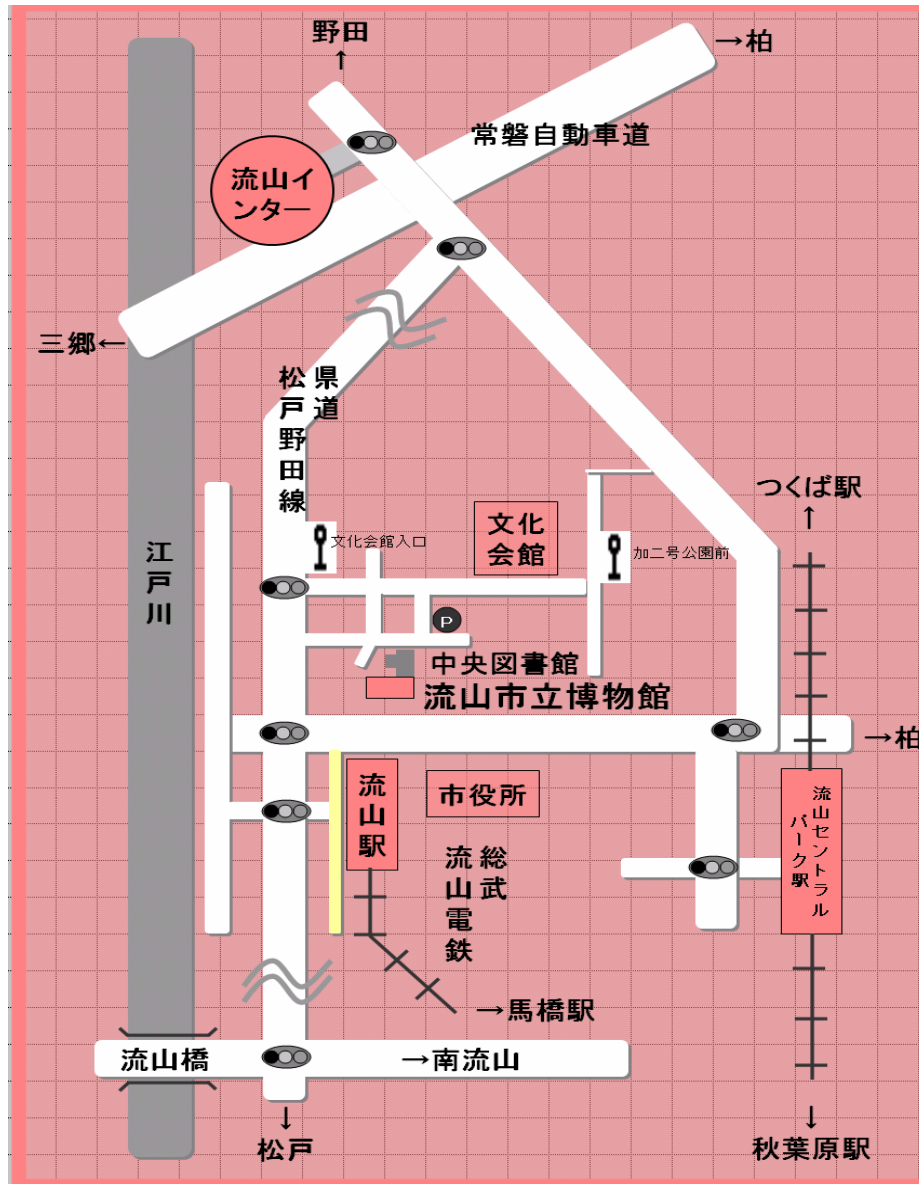
出版関係では「東葛地区の建築散歩ほか」を特集した東葛流山研究25号が3月末発行されました。個人出版も盛んですがここでは省略いたします。

特別企画では討論会「房総の博物館を考える」、房総の異色博物館巡り、隅田川納涼の夕べなどがありました。歴史散歩では相原さんの房総歴史散歩「坂川の源流を探る」、青木さんの「東京文学歴史散歩」、中村哲夫さんの「房総の明治大正建築探訪」などがありました。又新保、山本、青木、相原さんによる東葛路上観察学会も盛会でした。山本鉦太郎さんの「アンコール奥の細道」は3年目を迎え、今年は新潟から金沢までを歩きました。10月には朗読発表会が生涯学習センターホールで開催されました。その他恒例の新年会、忘年会では新しい工夫をこらし思い出深い一年となりました。



- 1年間の足跡 (毎月の文章、朗読、川柳の3講座は省略)
- 18・4・2 友の会拡大幹事会
- 18・4・2 東葛流山研究 第24号配本
- 18・4・9 第3回勇忌と講演会 (主催:大出俊幸)
- 18・5・3 総会・北野道彦賞 (梧桐賞は該当者なし)
- 18・5・26~28 奥の細道の旅 (講師山本鉦太郎)
- 18・5・30 におどり78号発刊
- 18・6・16 討論会「房総の博物館を考える」
- 18・7・16 房総の異色博物館めぐり (講師山本鉦太郎)
- 18・8・13 隅田川納涼の集い
- 18・9・17 坂川の源流を探る (講師相原正義)
- 18・10・8 房総の建築物探訪 (講師中村哲夫)
- 18・10・21 第8回朗読発表会 (主宰西村喜美江)
- 18・11・5 におどり79号発刊
- 18・12・10 友の会忘年会 (小倉ホール)
- 19・1・14 友の会新年会 (下花輪ホットプラザ)
- 19・2・11 研究発表会 (北部公民館)
- 19・3・11 東京文学歴史散歩 (講師青木更吉)
- 19・3・20 におどり80号発刊
- 19・3・20 東葛流山研究25号発刊

ご あ ん な い



- 交通：〔電車〕JR馬橋駅又は新松戸駅より流山線に乗換
流山駅下車 徒歩7分
つくばエクスプレス流山セントラルパーク駅下車 徒歩20分
〔バス〕京成バス（文化会館入口下車） 東武バス（加二号公園前下車）
〔自動車〕県道松戸野田線流山中央交番前
- 開館時間：午前9時30分から午後5時00分まで
- 休館日：毎週月曜日（国民の祝日が月曜日の場合はその翌日）
毎月月末の日（但し、月末の日が土・日曜日の場合は除く）
年末年始、その他臨時休館があります。
- 入館料：特別展を除き入館料は無料です。
特別展（大人 210円、小人 100円）
但し、団体など減免方法がありますので、お問い合わせください。

流山市立博物館

年 報 NO. 29 2007

平成19年 9月30日 発行

編集・発行 流山市立博物館

千葉県流山市加一丁目1225番地の6

TEL : 04-7159-3434

FAX : 04-7159-9998